

対象の会社は12社で2,000万円以上の設備投資をして5名以上を雇用した企業に対して企業振興条例の制度を適用します。除雪等の費用については、経費の50%以内で上限300万円までを3年間交付するものです。



請願項目調査・平鹿平野農業水利事業

建設

・陳情場所の現地調査を実施

審議された陳情1件・議案13件の主な内容は次のとおりです。

◇若者定住促進住宅事業◇

事業内容については、住宅を借りている方で、一定の条件を満たした場合に住宅を無償譲渡するものとの説明がありました。今後については、応募がなく合併後住宅は建設されていないが、応募に

応じて予算化して事業を実施するとの説明でした。

◇駅等の下水道の接続◇

現状については、横手駅と十文字駅で下水道が使用できる状況で、未接続の十文字駅については今年度接続のお願いをしているとの説明がありました。

◇除雪機械の補助要件◇

補助要件の内容は、増強の場合は雪寒指定道路の延長キロ数が決まっているので難しいが、更新の場合は機械購入後11年目に更新対象となるので国へ申請することになるとの説明でした。



陳情場所現地調査・平鹿町下吉田市内市道

◇落札率について◇

予定価格の設定については、県で示す標準価格を基にしているが、落札されない場合や、80%や98%の落札率の場合があるのは、県の標準価格が若干現状にそぐわない

状況にあるためと考えられるとの説明でした。

◇陳情・市道拡幅について◇

陳情場所の現地視察を行ったうえで審議し、通学路でありながら路肩も沈み道路幅も狭いなど、願意を妥当とし採択すべきものと決しました。

総務文教

・市立学校設置条例の一部改正案（十文字地域中学校統合案）が可決されました

市立中学校では初めてのケースとなる十文字中学校と十文字西中学校の統合が決まりました。平成22年4月から新しく十文字中学校として出発します。質疑の中で教育環境の整備と適正規模について教育委員会では、「豊かな人間関係を構築できる複数学級を整備することが望ましく、学習部活動に対する要求を満たし、生徒が自由に選択できる環境を整えていきたい。また150億円を上回る学校統合計画については、次年度予算から建設事業費を30%圧縮し、合併特例債が利用できるように進めたい。その以後になると現実的でない。中学校に関しては昭和56年以前に

建築されたものが12校中8校もある。改修等で二重三重の負担にならないように進めたい」との答弁がありました。

◇補正予算・震災復旧費用(751万円)◇

予算は一般財源で措置しているが、国・県の補助を望めるのかという質疑に対して、「庁舎に関しては把握していないが、学校関係は40万円超で補助申請の対象になり補助率3分の2で残りの3分の1も95%が交付税算入される」との答弁でした。

今回出動要請のあった緊急消防援助隊については、「消防本部として車輛・消防隊・救急隊を登録しており、岩手県・宮城県に4日間10名を派遣し、支援にあたった」との報告でありました。



栗原市で支援にあたる緊急消防援助隊